

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年3月19日 (2015.3.19)

【公開番号】特開2013-167812(P2013-167812A)
 【公開日】平成25年8月29日 (2013.8.29)
 【年通号数】公開・登録公報2013-046
 【出願番号】特願2012-31850(P2012-31850)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 B 21/14 Z

G 0 3 B 21/00 E

H 0 4 N 5/74 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月30日 (2015.1.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 1 】

第 1 の光 W 1 G R は第 2 の光分離光学系 6 2 によって、第 3 の光 G と第 4 の光 R とに分離され、第 2 の光 W 2 Y B は第 2 の光分離光学系 6 2 によって、第 5 の光 B と第 6 の光 Y とに分離される。さらに、第 2 の光分離光学系 6 2 は、第 3 の光 G と第 4 の光 R と第 5 の光 B と第 6 の光 Y とを、Y Z 平面と交差する方向に射出する。第 1 実施形態と同様に、位置 A 3 と位置 A 4 と位置 A 5 と位置 A 6 は、画素 P X 内において擬似マトリクス状に位置している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 9 0 】

第 1 の光 W 1 G Y は第 2 の光分離光学系 7 2 によって、第 3 の光 G と第 4 の光 Y とに分離され、第 2 の光 W 2 R B は第 2 の光分離光学系 7 2 によって、第 5 の光 R と第 6 の光 B とに分離される。さらに、第 2 の光分離光学系 7 2 は、第 3 の光 G と第 4 の光 Y と第 5 の光 R と第 6 の光 B とを、Y Z 平面と交差する方向に射出する。本実施形態においても、位置 A 3 と位置 A 4 と位置 A 5 と位置 A 6 は、画素 P X 内において擬似マトリクス状に位置している。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 1 4 】

第 2 基板 9 3 は、マイクロレンズアレイ 8 1 と、第 1 透明基板 9 2 と、第 2 透明基板 9

8 と、を備えている。マイクロレンズアレイ 8 1 の光射出側には厚みが $40\ \mu\text{m} \sim 50\ \mu\text{m}$ の薄い第 1 透明基板 9 2 が接合されている。また、マイクロレンズアレイ 8 1 の光入射側には厚みが $1.0\ \text{mm} \sim 1.4\ \text{mm}$ の厚い第 2 透明基板 9 8 が接合されている。マイクロレンズアレイ 8 1 および第 1 透明基板 9 2 が厚い第 2 透明基板 9 8 と接合されることで、マイクロレンズアレイ 8 1 および第 1 透明基板 9 2 の強度が補強されている。